

小ブケ遺跡

所在地 : 津市安濃町内多 (つし あのうちょう うちだ)

位置情報URL :

<http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=128&ll=34.76219907407407,136.46611299435028>

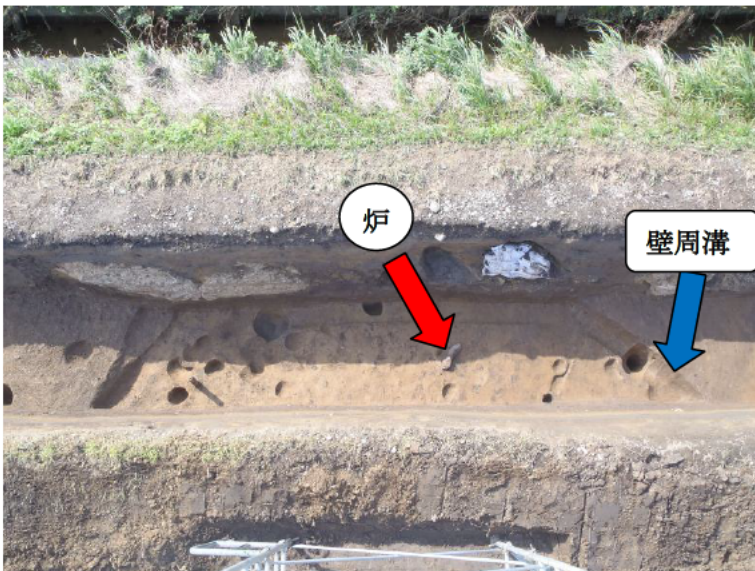
10月は悪天候続きでしたが、現在、遺構検出・掘削もほぼ終わっています。本調査区は農地の畦道で、全長約300m、幅約1mと長くて狭いですが、竪穴住居2棟や自然流路が複数見つかっています。また、弥生土器や須恵器、土師器などが沢山出土しています。



長くて狭い調査区です。(東から)



遺構検出の様子です。(東から)



竪穴住居跡です(北から)



竪穴住居から台付甕が出ました

調査区の西側で見つかった竪穴住居跡です。この住居は古墳時代前期(4世紀を中心とする時代)のものであると考えられます。



自然流路から高坏（たかつき）が写真のよ
うな状態で出土しました。高坏は、食物を盛
るために用いた長い脚の付いたうつわです。



自然流路での土器の出土状況（西から）



東側の溝から弥生土器が出土しました（東から）

問い合わせ先

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

三重県埋蔵文化財センター

調査研究 1 課 担当者：谷口・伊藤 亘

TEL 0596-52-1732

FAX 0596-52-7035